

2024年5月10日

各位

会社名：株式会社ルネサンス
代表者名：代表取締役社長執行役員 岡本利治
(コード番号：2378 東証プライム市場)
問合せ先：取締役専務執行役員 安澤嘉丞
最高財務責任者 管理本部長
(電話番号 03-5600-7811)

持分法適用関連会社における減損損失の計上及び 通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024年3月期第4四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社における減損損失を計上し、2024年2月9日に公表いたしました2024年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 持分法適用関連会社における減損損失の計上について

当社の持分法適用関連会社である株式会社東急スポーツオアシス（現：株式会社スポーツオアシス、以下「オアシス」といいます。）において、固定資産の回収可能性を慎重に検討した結果、計15施設の減損処理294百万円等を行い、連結決算において持分法による投資損失362百万円を営業外費用に計上いたしました。

2. 通期連結業績予想と実績値との差異について

(1) 2024年3月期連結業績予想と実績値の差異(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 44,000	百万円 1,200	百万円 900	百万円 650	円 銭 34.41
実績値 (B)	43,627	1,261	524	632	32.45
増減額 (B-A)	△372	61	△375	△17	
増減率 (%)	△0.8	5.1	△41.7	△2.6	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	40,760	680	311	△1,141	△60.44

(2) 差異が生じた理由

2024年3月期の通期業績予想につきましては、2024年2月9日の時点で入手可能な情報をもとに計画しており、売上高ならびに営業利益については、概ね前回予想に近い水準で推移しました。

一方、経常利益については、上記1.に記載のとおり、持分法による投資損失の計上により、前回公表の業績予想を下回る結果となりました。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益については、オアシスの株式を段階取得したことに伴う株式再評価による評価益を計上したことで、概ね前回予想に近い水準で推移しました。

以 上